

# 経営計画策定のための融資取引の基本ガイド

資金調達・評価基準・財務指標を網羅した経営者向け完全ガイド

## 1. 融資・保証の種類

### 主な融資形態

- 証書貸付:**  
設備投資・長期運転資金(1年超)。
- 手形貸付:**  
季節資金・賞与資金(1年以内)。
- 当座貸付:**  
極度額内で自由に反復借入。※事務負担減、要信用力。

### 保証・担保の仕組み

- 個人保証:**  
経営者の連帯保証。※解除に向けた動き加速中。
- 信用保証協会:**  
公的機関による保証。
- 預金担保:**  
定期預金を担保に低利借入。
- 不動産担保:**
  - 抵当権:** 特定借入を担保。完済で消滅。
  - 根抵当権:** 極度額を設定し反復利用。

## 2. 金融検査マニュアル

金融機関による自己査定区分(格付け)

区分	定義
正常先	業況良好で財務問題なし
要注意先	業況低調・条件変更等
要管理先	3ヶ月以上延滞・緩和あり
破綻懸念先	実質的赤字・破綻懸念大

## 3. 事業性評価

財務データだけでなく、企業の持続可能性や将来性を総合評価する手法。

- 経営者力:** ビジョン・意欲・資質
- 事業の強み:** 市場優位性・技術力
- 組織力:** 人材定着・管理体制
- SWOT分析:** 強み・機会の活用

## 4. 健全性を示す重要指標

格付け評価の基礎となる数値目標

### ① 債務償還年数

$$\frac{\text{有利子負債}}{\text{純利益} + \text{減価償却}}$$

目安: 10年以内

### ② 借入金対月商倍率

$$\frac{\text{有利子負債}}{\text{月商}}$$

目安: 3ヶ月～5ヶ月

## 5. 固定・変動金利と情勢

種類	メリット	デメリット	
固定	返済額確定 画容易	計 金利高め 下恩恵なし	低
変動	金利低め 初負担減	当 上昇リスク有 返済額未確定	

### ▲金利情勢のポイント

「金利ある世界」への移行期。  
返済期間やリスク許容度に応じ、固定・変動のバランス検討が重要。

# 経営計画策定セミナーのご案内

融資に強い会社を作る！金融機関が応援したくなる事業計画とは？

## ②こんなお悩みはありませんか？

- ✓ 資金繰りに追われ、本業に集中できていない
- ✓ 新たな設備投資をしたいが、融資の進め方が不安
- ✓ 銀行員に決算書の内容をうまく説明できない
- ✓ 金融機関との交渉を有利に進めるポイントを知りたい
- ✓ 客観的な数値で自社の格付けを把握したい
- ✓ 個人保証が外せなくて、事業承継が進まない
- ✓ 将来のために、根拠のある経営計画を策定したい

▼ そのお悩み、本セミナーですべて解決します！

## ③セミナー内容

### 【第1部】融資の種類と選択

企業の状況に合わせた最適な資金調達

### 【第3部】経営計画の重要性

目標明確化と資金繰り改善のメリット

### 【第2部】評価・保証・担保

個人保証・保証協会（保証区分）・担保（預金・不動産）、事業性評価

### 【第4部】評価される計画

自己査定区分（格付け）を意識した数値計画

## 開催概要

日 2026年1月22日 (木)

時 15:30 ~ 17:00

■ 完全オンライン (Zoom)

¥ 参加費無料



<https://forms.gle/Dd3usiuU5sPmRBum8>